

受動喫煙防止対策に関する調査回答結果

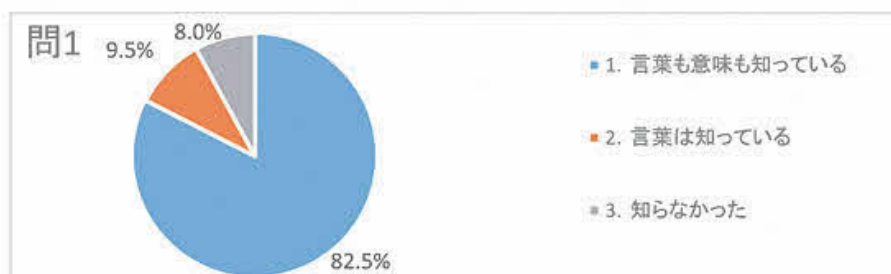
※留意事項

- ・回答区分については、全施設（全業種）、公共的施設（宿泊施設除いた業種）、宿泊施設とする。
- ・問4及び問9については、宿泊施設のみ調査項目を変更しているため、別に記載している。
- ・回答のあった調査票において、回答項目の未記載等があるため、項目毎の計は異なる場合がある。
- ・構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない場合がある。

問1 「受動喫煙」という言葉を知っていますか。

1. 言葉も意味も知っている 2. 言葉は知っている 3. 知らなかった(この調査で初めて知った)

問1	全施設	
	回答数	割合
1	1,936	82.5%
2	224	9.5%
3	187	8.0%
計	2,347	100%

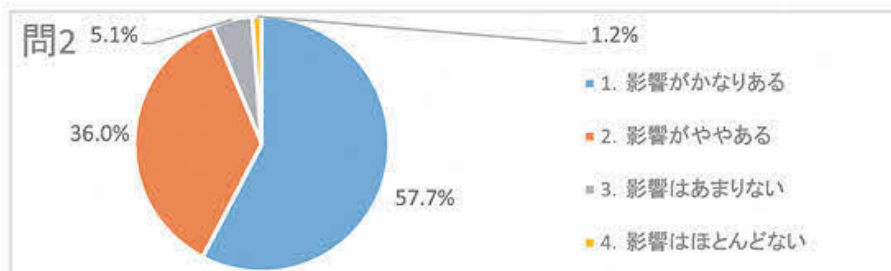


○「言葉も意味も知っている」と回答したのが82.5%と最も多かった。

問2 「受動喫煙」とは、自分の意思とは関係なく、他人のたばこの煙を吸わされることを指します。あなたは受動喫煙が及ぼす健康への影響について、どのようにお考えですか。

1. 影響がかなりある 2. 影響がややある 3. 影響はあまりない 4. 影響はほとんどない

問2	全施設	
	回答数	割合
1	1,344	57.7%
2	839	36.0%
3	120	5.1%
4	28	1.2%
計	2,331	100%

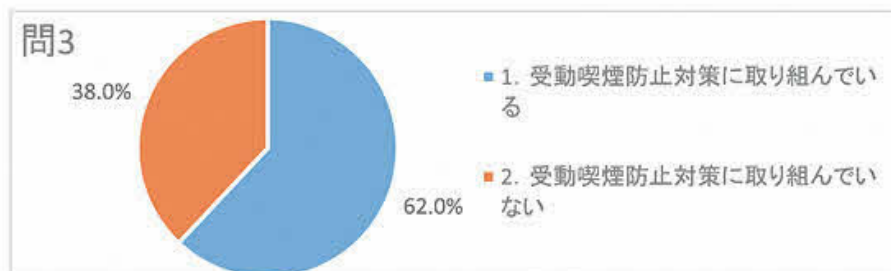


○受動喫煙が及ぼす健康への影響について、「影響がかなりある」又は「影響がややある」と回答したのは93.7%であり、9割を超えていた。「影響はほとんどない」と回答したのは1.2%であった。

問3 貴施設では、受動喫煙防止対策に取り組んでいますか。

1. 受動喫煙防止対策に取り組んでいる →【問4～7】
2. 受動喫煙防止対策に取り組んでいない(施設内の全ての場所で喫煙できる) →【問8～10】

問3	全施設	
	回答数	割合
1	1,454	62.0%
2	891	38.0%
計	2,345	100%



○「受動喫煙防止対策に取り組んでいる」と回答したのは62.0%、「受動喫煙防止対策に取り組んでいない(施設内の全ての場所で喫煙できる)」と回答したのは38.0%であった。

◆公共的施設

【問4～問7は、問3で「1. 受動喫煙防止対策に取り組んでいる」を選んだ方がお答え下さい。】

問4 貴施設で現在取り組んでいる受動喫煙防止対策はどのようなものですか。

1. 施設内を常に「禁煙」としている
2. 昼食時など一定の時間帯にのみ、施設内を「禁煙」にしている
3. 施設内で、煙が外に漏れない「喫煙室」を設ける形で「分煙」を実施している
4. 「喫煙席(区域)」と「禁煙席(区域)」を分けているが、煙は禁煙席(区域)へ流れている
5. その他

問4	公共的施設	
	回答数	割合
1	777	59.0%
2	56	4.2%
3	225	17.1%
4	168	12.7%
5	92	7.0%
計	1,318	100%



○受動喫煙防止対策に取り組んでいる公共的施設のうち、「施設内を常に『禁煙』としている」と回答したのが59.0%と最も多く、次に多かった回答は「施設内で、煙が外に漏れない『喫煙室』を設ける形で『分煙』を実施している」であった。

◆宿泊施設のみ(問4-1～3)

問4 貴施設で現在取り組んでいる受動喫煙防止対策はどのようなものですか。

4-1. 客室

1. 全て「禁煙」にしている
2. 全て喫煙可能としている
3. 「禁煙」及び喫煙可能な客室に分けている

問4-1	宿泊施設	
	回答数	割合
1	36	29.5%
2	19	15.6%
3	67	54.9%
計	122	100%



4-2. 施設内共用空間(ロビー等)

1. 常に「禁煙」にしている
2. 施設内で煙が外に漏れない「喫煙室」を設けている
3. 喫煙室はなく、喫煙できるエリアを指定している

問4-2	宿泊施設	
	回答数	割合
1	56	47.1%
2	18	15.1%
3	45	37.8%
計	119	100%



4-3. 施設内の食堂、レストラン

1. 常に「禁煙」にしている
2. 昼食時など一定の時間帯にのみ、施設内を「禁煙」にしている
3. 煙が外に漏れない「喫煙室」を設ける形で「分煙」を実施している
4. 「喫煙席(区域)」と「禁煙席(区域)」を分けているが、煙は禁煙席(区域)へ流れている

問4-3	宿泊施設	
	回答数	割合
1	96	80.7%
2	7	5.9%
3	6	5.0%
4	10	8.4%
計	119	100%



○客室を「全て『禁煙』にしている」と回答したのは29.5%、「『禁煙』及び喫煙可能な客室に分けている」と回答したのは54.9%であった。施設内の食堂、レストランを「常に『禁煙』にしている」と回答したのは80.7%であった。施設内共用空間（ロビー等）を「常に『禁煙』にしている」と回答したのは47.1%、「喫煙室はなく、喫煙できるエリアを指定している」と回答したのは37.8%であった。

問5 受動喫煙防止対策に取り組む上で、次のような懸念・問題がありましたか。

5-1. 利用客が減少する懸念があった

1. あてはまる
2. ややあてはまる
3. あまりあてはまらない
4. あてはまらない

問5-1	全施設	
	回答数	割合
1	130	9.0%
2	230	16.0%
3	340	23.6%
4	742	51.5%
計	1,442	100%



5-2. 利用者(喫煙者)とのトラブルが増加する懸念があった

1. あてはまる
2. ややあてはまる
3. あまりあてはまらない
4. あてはまらない

問5-2	全施設	
	回答数	割合
1	65	4.5%
2	202	14.0%
3	382	26.5%
4	792	55.0%
計	1,441	100%



5-3. 喫煙室や分煙設備を設置する費用の問題があった

1. あてはまる
2. ややあてはまる
3. あまりあてはまらない
4. あてはまらない

問5-3	全施設	
	回答数	割合
1	182	12.7%
2	175	12.2%
3	190	13.3%
4	885	61.8%
計	1,432	100%



5-4. 喫煙室や分煙設備を設置するスペースの問題があった

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

問5-4	全施設	
	回答数	割合
1	235	16.5%
2	159	11.1%
3	184	12.9%
4	850	59.5%
計	1,428	100%



5-5. 喫煙者の減少や法令の改正等により、喫煙室や分煙設備が無駄になる懸念があった

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

問5-5	全施設	
	回答数	割合
1	45	3.2%
2	77	5.4%
3	279	19.6%
4	1,023	71.8%
計	1,424	100%



5-6. テナントとして入っている施設の管理者との調整が困難であった

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

問5-6	全施設	
	回答数	割合
1	22	1.6%
2	35	2.5%
3	87	6.3%
4	1,242	89.6%
計	1,386	100%



5-7. 従業員の理解を得るのが困難であった

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

問5-7	全施設	
	回答数	割合
1	29	2.0%
2	92	6.5%
3	232	16.3%
4	1,073	75.2%
計	1,426	100%



5-8. 法令等で義務付けられていないため、対策の取組が困難であった

1. あてはまる 2. あてはまらない 3. 法令等についてはよく知らない

問5-8	全施設	
	回答数	割合
1	85	6.1%
2	981	70.4%
3	327	23.5%
計	1,393	100%



○各設問のうち「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答した割合が多いのは、「利用客が減少する懸念があった」(25.0%)、「喫煙室や分煙設備を設置する費用の問題があった」(24.9%)、「利用者(喫煙者)とのトラブルが増加する懸念があった」(18.5%)であった。「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答した割合が少ないのは、「テナントとして入っている施設の管理者との調整が困難であった」(4.1%)、「法令等で義務付けられていないため、対策の取組が困難であった」(6.1%)、「従業員の理解を得るのが困難であった」(8.5%)であった。

問6 貴施設が受動喫煙防止対策に取り組んでいるのはどのような目的・理由からですか。

6-1. 利用客の健康を守るため

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

問6-1	全施設	
	回答数	割合
1	900	62.7%
2	303	21.1%
3	100	7.0%
4	132	9.2%
計	1,435	100%



6-2. 従業員の健康を守るため

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

問6-2	全施設	
	回答数	割合
1	856	59.8%
2	293	20.5%
3	133	9.3%
4	149	10.4%
計	1,431	100%



6-3. 社会的な流れのため

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

問6-3	全施設	
	回答数	割合
1	922	64.3%
2	309	21.6%
3	75	5.2%
4	127	8.9%
計	1,433	100%



6-4. 会社・本部からの方針のため

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

問6-4	全施設	
	回答数	割合
1	767	54.1%
2	212	14.9%
3	127	8.9%
4	313	22.1%
計	1,419	100%



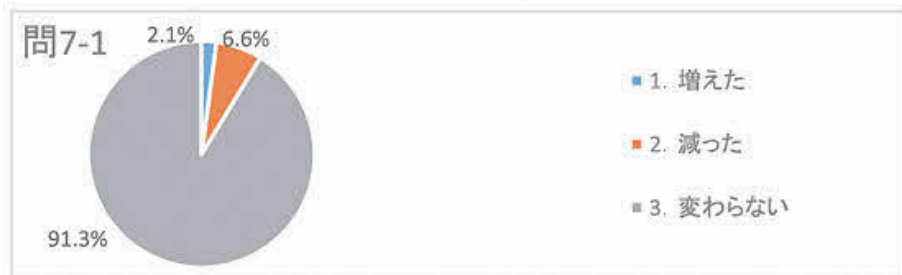
○各設問のうち「あてはまる」又は「ややあてはまる」との回答した割合について、「利用客の健康を守るため」、「従業員の健康を守るため」、「社会的な流れのため」は8割を超えていた。

問7 貴施設が受動喫煙防止対策に取り組んで以降、利用客の状況に変化はありましたか。

7-1. 利用客の来店数

1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない

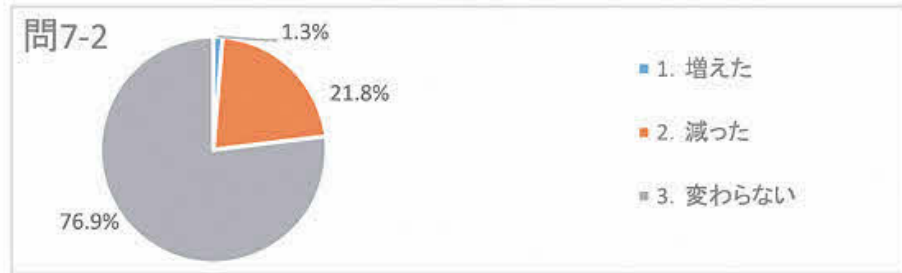
問7-1	全施設	
	回答数	割合
1	30	2.1%
2	94	6.6%
3	1,294	91.3%
計	1,418	100%



7-2. 利用客からの、たばこの煙についての苦情

1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない

問7-2	全施設	
	回答数	割合
1	18	1.3%
2	307	21.8%
3	1,081	76.9%
計	1,406	100%



7-3. 利用客からの、たばこを吸えないことについての苦情

1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない

問7-3	全施設	
	回答数	割合
1	118	8.4%
2	106	7.5%
3	1,183	84.1%
計	1,407	100%



○受動喫煙防止対策に取り組んで以降、「利用客の来店数」については、「増えた」が2.1%、「減った」が6.6%、「変わらない」が91.3%、「利用客からの、たばこの煙についての苦情」については、「増えた」が1.3%、「減った」が21.8%、「変わらない」が76.9%、「利用客からの、たばこを吸えないことについての苦情」が「増えた」が8.4%、「減った」が7.5%、「変わらない」が84.1%であった。

【問8～問10は、問3で「2. 受動喫煙防止対策に取り組んでいない」を選んだ方がお答え下さい。】

問8 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機として、公共の場における受動喫煙防止対策を強化するため、国は昨年1月に検討チームを立ち上げました。そこで、この1年間で貴施設の利用客の状況に次のような変化はありましたか。

8-1. 利用客の来店数

1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない

問8-1	全施設	
	回答数	割合
1	30	3.5%
2	114	13.2%
3	719	83.3%
計	863	100%



8-2. 利用客からのたばこの煙についての苦情

1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない

問8-2	全施設	
	回答数	割合
1	33	3.8%
2	23	2.7%
3	802	93.5%
計	858	100%



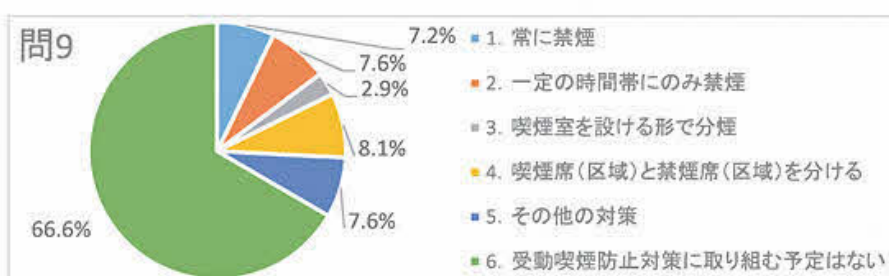
○受動喫煙防止対策に取り組んでいないと回答した中で、「利用客の来店数」については、「増えた」が3.5%、「減った」が13.2%、「変わらない」が83.3%、「利用客からの、たばこの煙についての苦情」については、「増えた」が3.8%、「減った」が2.7%、「変わらない」が93.5%であった。

◆公共的施設

問9 貴施設は、今後、受動喫煙防止対策に取り組む予定がありますか。

- 施設内を常に「禁煙」とする
- 昼食時など一定の時間帯にのみ、施設内を「禁煙」とする
- 施設内で、煙が外に漏れない「喫煙室」を設ける形で「分煙」を実施する
- 「喫煙席(区域)」と「禁煙席(区域)」を分けて分煙を行う(煙は禁煙席(区域)へ流れる)
- その他の対策
- 受動喫煙防止対策に取り組む予定はない

問9	公共的施設	
	回答数	割合
1	58	7.2%
2	61	7.6%
3	23	2.9%
4	65	8.1%
5	61	7.6%
6	534	66.6%
計	802	100%



○今後、取り組む受動喫煙防止対策としては「『喫煙席(区域)』と『禁煙席(区域)』を分けるが、煙が禁煙席(区域)へ流れるのはそのままとする」と回答したのが8.1%と最も多く、「受動喫煙防止対策に取り組む予定はない」と回答したのは66.6%であった。

◆宿泊施設のみ(問9-1~3)

問9 貴施設は、今後、受動喫煙防止対策に取り組む予定がありますか。

9-1. 客室

1. 全て「禁煙」とする
2. 「禁煙」及び喫煙可能な客室に分ける
3. 受動喫煙防止対策に取り組む予定はない

問9-1	宿泊施設	
	回答数	割合
1	2	3.5%
2	16	28.1%
3	39	68.4%
計	57	100%



9-2. 施設内共用空間(ロビー等)

1. 常に「禁煙」とする
2. 施設内で煙が外に漏れない「喫煙室」を設ける
3. 喫煙室はなく、喫煙エリアを指定する
4. 受動喫煙防止対策に取り組む予定はない

問9-2	宿泊施設	
	回答数	割合
1	7	12.3%
2	2	3.5%
3	23	40.4%
4	25	43.9%
計	57	100%



9-3. 施設内の食堂、レストラン

1. 常に「禁煙」とする
2. 昼食時など一定の時間帯にのみ、施設内を「禁煙」とする
3. 煙が外に漏れない「喫煙室」を設ける形で「分煙」を実施する
4. 「喫煙席(区域)」と「禁煙席(区域)」を分けて分煙を行う(煙は禁煙席(区域)へ流れる)
5. 受動喫煙防止対策に取り組む予定はない

問9-3	宿泊施設	
	回答数	割合
1	13	23.6%
2	3	5.5%
3	3	5.5%
4	6	10.9%
5	30	54.5%
計	55	100%



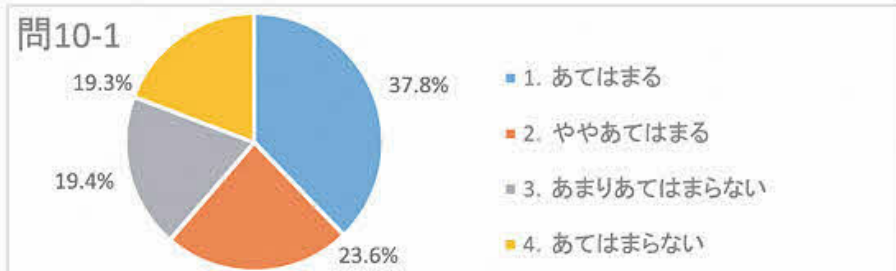
○客室については「受動喫煙防止対策に取り組む予定はない」と回答したのが68.4%と最も多かった。施設内共用空間(ロビー等)については「受動喫煙防止対策に取り組む予定はない」と回答したのが43.9%と最も多く、次に多いのが「喫煙室はなく、喫煙エリアを指定する」の40.4%であった。施設内の食堂、レストランについては「受動喫煙防止対策に取り組む予定はない」と回答したのが54.5%と最も多かった。

問10 これから受動喫煙防止対策に取り組もうとする場合、懸念・問題は何ですか。

10-1. 利用客が減少する懸念があること

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

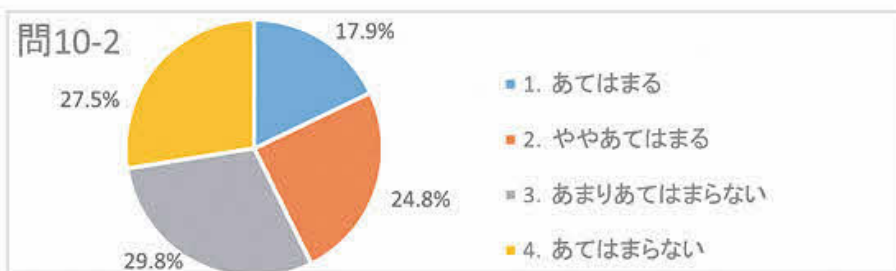
問10-1	全施設	
	回答数	割合
1	319	37.8%
2	199	23.6%
3	164	19.4%
4	163	19.3%
計	845	100%



10-2. 利用者(喫煙者)とのトラブルが増加する懸念があること

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

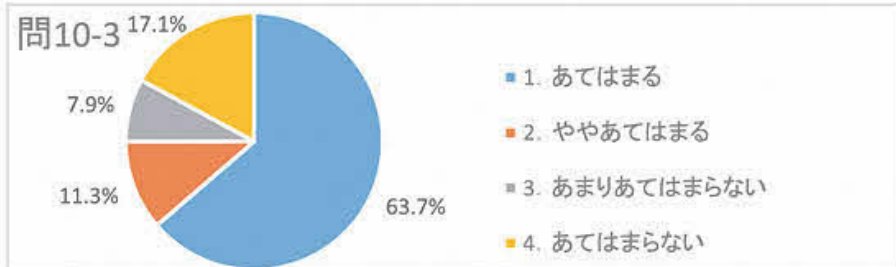
問10-2	全施設	
	回答数	割合
1	152	17.9%
2	210	24.8%
3	252	29.8%
4	233	27.5%
計	847	100%



10-3. 喫煙室や分煙設備を設置する費用の問題があること

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

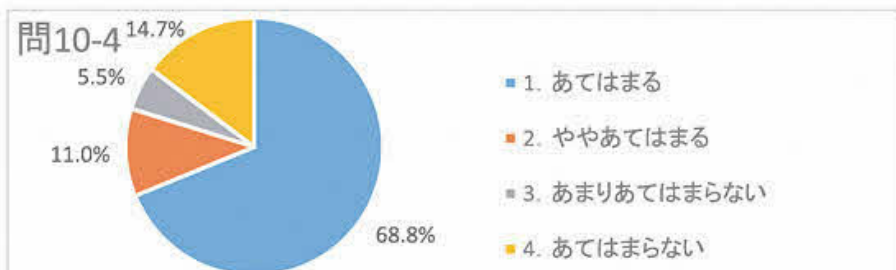
問10-3	全施設	
	回答数	割合
1	541	63.7%
2	96	11.3%
3	67	7.9%
4	145	17.1%
計	849	100%



10-4. 喫煙室や分煙設備を設置するスペースの問題があること

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

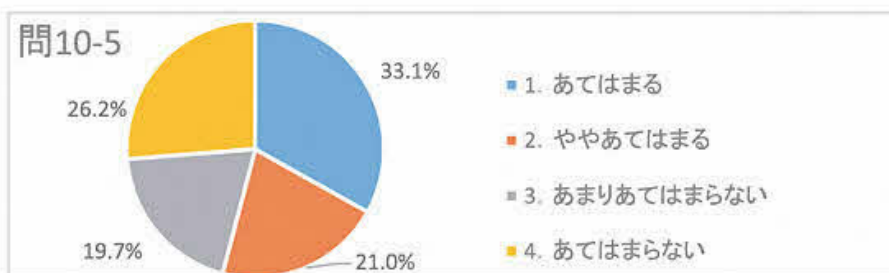
問10-4	全施設	
	回答数	割合
1	583	68.8%
2	93	11.0%
3	47	5.5%
4	125	14.7%
計	848	100%



10-5. 喫煙室の減少や法令の改正等により、喫煙室や分煙設備が無駄になる可能性があること

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

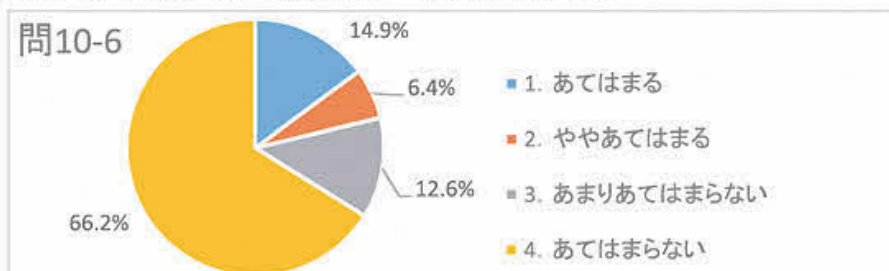
問10-5	全施設	
	回答数	割合
1	275	33.1%
2	175	21.0%
3	164	19.7%
4	218	26.2%
計	832	100%



10-6. テナントとして入っている施設の管理者との調整が困難であること

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

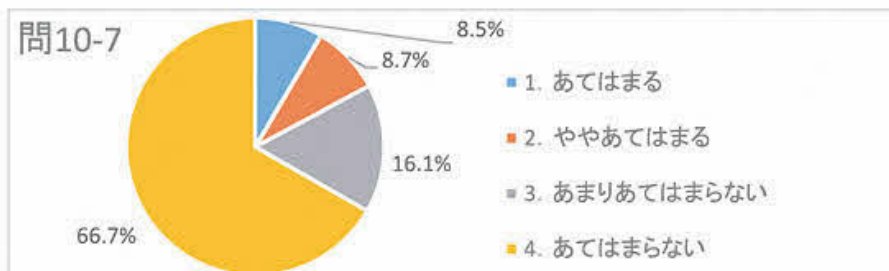
問10-6	全施設	
	回答数	割合
1	117	14.9%
2	50	6.4%
3	99	12.6%
4	521	66.2%
計	787	100%



10-7. 従業員の理解が得られないこと

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

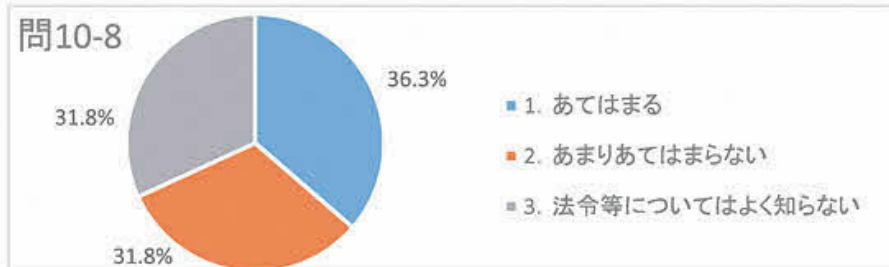
問10-7	全施設	
	回答数	割合
1	69	8.5%
2	71	8.7%
3	131	16.1%
4	543	66.7%
計	814	100%



10-8. 法令等で義務付けられていないため、対策の取組が困難であること

1. あてはまる 2. あてはまらない 3. 法令等についてはよく知らない

問10-8	全施設	
	回答数	割合
1	300	36.3%
2	263	31.8%
3	263	31.8%
計	826	100%



○各設問のうち「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答した割合が多いのは、「喫煙室や分煙設備を設置するスペースの問題があること」(79.8%)、「喫煙室や分煙設備を設置する費用の問題があること」(75.0%)、「利用客が減少する懸念があること」(61.4%)であった。「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答した割合が少ないのは、「従業員の理解が得られないこと」(17.2%)、「テナントとして入っている施設の管理者との調整が困難であること」(21.3%)、「法令等で義務付けられていないため、対策の取組が困難であること」(36.3%)であった。